

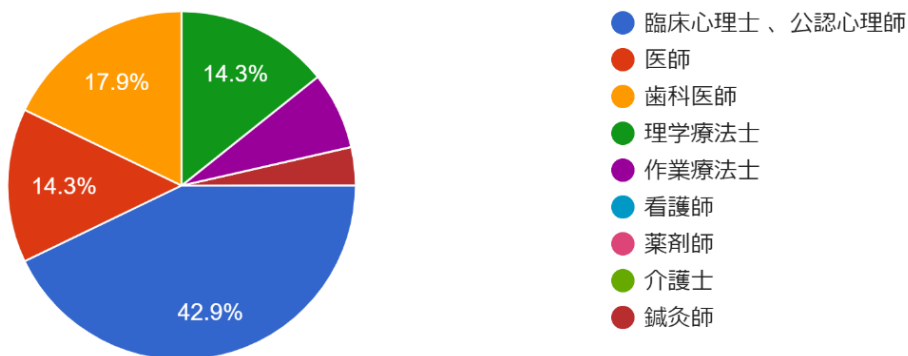
慢性疼痛診療システム均てん化等事業近畿地区 心と身体の痛みセミナー 慢性疼痛難治例を考える -心理師(士)だからできること- 参加者アンケート集計結果

2024年2月10日(日) 14:00~16:30 (ハイブリッド開催)

参加者数 計 110名 (オンライン 101名 現地参加 3名 登壇者 6名)

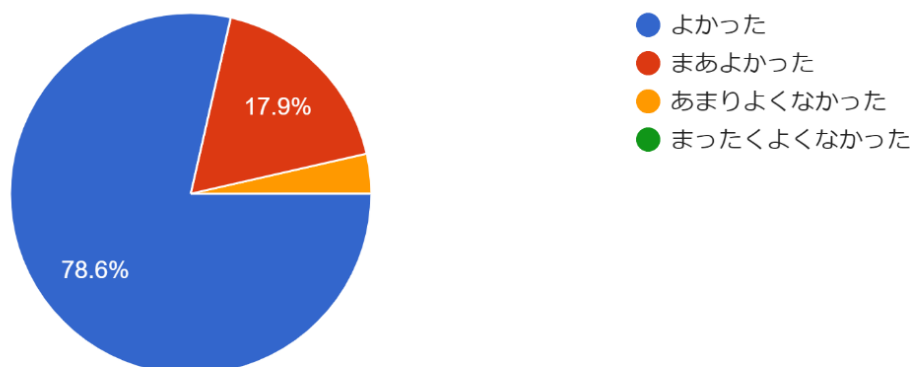
あなたの職種を教えてください。(兼任の場合は主な業種を1つ選択してください)

28件の回答



今回のセミナーの感想をお聞かせください。

28件の回答



感想や意見をお聞かせください。

- ・心理士が痛みに関わっている例を具体的に知ることができたのですが、私のいる地域ではそのような機会があるのだろうか、どうすれば可能になるのだろうかと思ってしまいました。
- ・痛みに関して、心理がやれそうなことが分かった。
- ・いずれの症例も興味深く、楽しく参加できました。
- ・医師、心理士の診療事例をお伺いできて良かった
- ・慢性痛の患者さんはユニークですよね。水野先生のお話がとても分かりやすかったです。ありがとうございます。
- ・とても興味深い話でした。最近頭痛外来と連携することになったので勉強していきたいと思います
- ・患者さん、クライアントとの対話において、心理師（士）の方がどのような視点で向き合っているかを知ることができました。また、長い期間をかけて患者さん、クライアントとの関わりを続けることで少しずつ変化が起きていくことを実例を通して知ることができました。とても有益な研修会でした。ありがとうございました。
- ・このようなセミナーでは基本的に医師の意見を聞くことが多く、心理士の意見を多く聞ける機会が貴重だった
- ・多数の心理士が1つの症例を検討することで、様々な視点で考えることができ、興味深かったです。有り難うございました
- ・症例も、それに対する医療、心理面からそれぞれの深掘り、考察が大変興味深いものでした。大変勉強になりました。ありがとうございました。”
- ・普段心理師の先生と直接交流することが少ないため、どのように患者様に接しておられるのかが理解できて、参加してよかったです。
- ・医療と連携して、痛みに対して心理学の知見が関われそうだと思います。
- ・どのご発表も興味深く勉強になりました。企画いただきありがとうございました。目の前の患者さんに対してこちらが何を意識してどうアプローチしていくか、改めて自分の臨床を振り返る機会になりました。次回は現地参加できればと思います。”
- ・他職種の方の、痛み患者さんとの向き合い方に触れることが出来て勉強になりました。リハビリにおいては算定期限の関係もあってか、早期終了を目指してしまう面があります。もちろん早期に痛みの改善が得られるに越したことはありませんが、慢性的な痛みであれば、それは必ずしも叶わず、最後の先生が発言されていたように、病院の中に、その患者さんの居場所、困ったら行けば分かってくれる所があるという、決して依存ということでないことが大事になりますが、居場所作りは大事だと感じており、感銘、共感を受けました。”
- ・心理士の先生方のお考えがとても勉強になりました。又、片頭痛の患者さんも、心理士の先生が同性ということで、話易い、心情を吐露し易い、共感を得やすいという側面もあるのではないかと思います。だからと言って男性の先生に話しづらいという訳ではありませんが、月経時や直前の不快症状などは想像を絶する時もあるので、話のできる、聴いて貰える存在が居るとするのは大きな励みになろうかと思います。長々と失礼しました。この度は貴重な機会を設けて頂き、誠にありがとうございました。”

- ・精神分析、認知行動療法という方法論・介入方法の違いよりもむしろ、Thのプレゼンスの影響の大きさを感
じさせられた面もありましてたいへん興味深い内容でした。
- ・前半の演題について、性格検査(HTPP)を面接に活用することで患者様の語りと気づきを促していく介入や、
活動記録とペーシングのように生活場面での実際の行動を通して変容を促していく介入など、それぞれの関
わり方のお話を事例を通して具体的に伺うことができ大変勉強になりました。
後半の症例検討会では、議題を頂いて医師とは異なる心理士独自のアプローチって何ができるだろう？と考
えさせられましたが、先生方のお話を伺って、発達の方の『思い込み』をそのまま大事に扱うことや、治療
的自己を意識的に行うことなど、技法というより根本的な視点や姿勢の大切さに改めて気づかされました。
- ・今まで知らなかった心理士の先生方の治療について聞けた

今後どんな企画を希望されますか。

- ・慢性疼痛の事例紹介をいろいろ聞きたいと思います。
それから、心理士の療法を公的な制度を使って出費を少なく受けられる方法があったら知りたいです。医療
報酬や介護報酬の中に組み込まれないものでしょうか。
- ・運動療法が学べれば嬉しいです。
- ・いろいろな事例を知りたいです。
- ・CBTを活用した事例や、心理師との連携の具体例や工夫など、もっと聞いてみたいです。
- ・治療的自己の磨き方
- ・難治例だけでなくいろいろなケースを見てみたいです。典型例なども他の方がどう関わっているのかをみて
みたいです。また心理職の働きを多職種にどう理解してもらうのかみたいなことも知りたいです。
- ・患者様の心を開き離しやすくする心理師の先生の面接技術が観てみたいです。
- ・医療機関と個人開業の心理相談室がネットワークできるシステムを構築できたらよいと思います。
- ・症例検討
- ・今後とも難治例に限らず事例検討会を希望します。
- ・貴重な学びの機会をありがとうございます。今後もオンラインでも参加可能な形式を継続して頂けると幸
いです。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・慢性疼痛を抱えている人の多職種連携について

このセミナーをどこでお知りになりましたか？（主なものを1つご選択ください）

28件の回答

